

2022年5月23日

ニューヨーク市観光局がお届けする観光客向けのトラベルガイド 「ニューヨーカーのように歩くブロンクス」

ニューヨーク市観光局

日本オフィス

トレード・マーケティングに
関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オーダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

「Get Local NYC〜ニューヨーク市を知り尽くそう〜」キャンペーンの一環として、公園や庭園、近隣エリア、食にフォーカスした旅行者とローカル向けのブロンクス・ガイドを発表

世界的に有名なヤンキー・スタジアムからアーサー・アベニュー、ブロンクス動物園、シティ・アイランドまで、ブロンクスは活気あるコミュニティや緑地を楽しめるユニークなエリア

アメリカ合衆国・ニューヨーク市の公式ツーリズム・マーケティング機関である**ニューヨーク市観光局**（正式英語団体名: NYC & Company、プレジデント&CEO: フレッド・ディクソン）は、今年3月に発表した新キャンペーン「**Get Local NYC〜ニューヨーク市を知り尽くそう〜**」の第2弾として、「**ニューヨーカーのように歩くブロンクス**」と題した**ブロンクス・トラベルガイド**を発行しました。

マンハッタンから電車で北上すればそこはもうブロンクス。ブロンクス動物園や世界的に有名なヤンキー・スタジアムなど、魅力的なスポットが目白押しです。グランドコンコース（The Grand Concourse）を散策したり、マンハッタンからフェリーに乗ってのどかなウォーターフロント、クレイソン・ポイント（Clason Point）を訪れるのもおすすめです。リバーデイル（Riverdale）の本格的なアイリッシュパブ「An Beal Bocht」でギネスを飲んだり、この地区ならではのリトル・イタリー（イタリア人街）にあるアーサー・アベニュー（Arthur Avenue）、そして本好きにはたまらないモットヘブン（Mott Haven）の「The Lit. Bar」、チョコレート好きには欠かせない「Chocobar Cortes」など、ユニークで活気のある地区を探索することができます。

ブロンクスには魅力的な歴史が詰まっており、18世紀にはジョージ・ワシントンがこの地で永眠し、19世紀には詩人エドガー・アラン・ポーが暮らし、20世紀にはヒップホップ・ミュージックが生まれました。ウェーブヒル（Wave Hill）やニューヨーク植物園といった美しい庭園から、クロスカントリーで有名なヴァン コートランド パーク（Van Cortlandt Park）まで、延7,000エーカーもの公園面積（ブロンクス区総面積の約25%）を有しています。

ニューヨーク市・経済・労働力開発担当副市長の**マリア・トレス・スプリンガー**は次のように述べています。「ヒップホップ発祥の地であり、多様な文化と広大な緑地の真中に位置するブロンクスには、ニューヨーク観光において見逃せない体験がたくさんあります。気候が暖かくなっていくこの時期は、ブロンクスの音楽、食、アート、ショッピング、そして自然を探索するのに絶好の時です。」

また、ニューヨーク市観光局の**プレジデント&CEO のフレッド・ディクソン**は「ブロンクスは、ヤンキー・スタジアム、ブロンクス動物園、ニューヨーク植物園、そしてヒップホップ発祥の地として知ら

れているかもしれませんが、それだけでなく、ぜひ探索していただきたい本物のユニークなローカル体験で溢れています。シティ・アイランドやオーチャード・ビーチ（Orchard Beach）などのウォーターフロント、アーサー・アベニューをはじめとするリトル・イタリー、ヤンキー・スタジアムに隣接する River Avenue や 161st Street 沿いの壁画やレストラン、広大な公園や庭園、そして至るところで楽しめるすばらしいエスニック料理など、ブロンクスはまさにニューヨーカーのようにニューヨーク市を体験できる、唯一無二のデスティネーションなのです」と述べています。

ニューヨーク市観光局

日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オードス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

ブロンクスのユニークで魅力的な宿泊施設といえば、ブティックホテル「[Opera House Hotel](#)」です。かつてハリー・フーディーニやマルクス兄弟のような伝説的なエンターテインメントが上演された、歴史ある劇場を改装したホテルで、60 の客室、ジム、無料の朝食、コンシェルジュサービスを備え、地下鉄の 149th Street-Grand Concourse 駅と Third Avenue-149th Street 駅に隣接しています。

ブロンクスには何百ものレストランがあり、その多くは世界各国の本格的な料理を提供する家族経営のフレンドリーなレストランです。コロンビア料理の「La Masa」、メキシコ料理の「Taqueria Tlaxcalli」、アーサー・アベニューにあるイタリア料理レストランなど、さまざまなレストランがあります。ミシュランのロゴがドアに掲げられた「SUYO Gastrofusion」は、洗練されたシックな空間でタイ風チキンエンパナーダや panko maduros などのラテン・アジア系メニューが楽しめます。更にブロンクスは、リトル・ガーナ（ガーナ人街）のような活気ある移民コミュニティのおかげで、西アフリカ料理も有名です。ガーナ料理の「Papaye」、トーゴ料理の「Bognan International」、コートジボワールの「Grin」などがオススメです。

以下では、ブロンクスのなかでも、主要な観光スポット、飲食店、アート関連施設、ポートや橋の散策など、ユニークなスポットや体験を詳しくご紹介します。

●**ヤンキー・スタジアム、グランドコンコース（THE GRAND CONCOURSE）**、そして**ヒップホップの歴史**: ヤンキース・ファンでいっぱい地下鉄に乗って、本拠地でブロンクス・ボンバーズを観戦するのは最高です（B/D/4 系統の地下鉄で 161st Street 駅下車）。予算が限られているなら、スタンド席は 10 ドル、屋根なし観覧席は 30 ドル以下で購入できます。ただし、ホームチームを応援する準備はしておいてください！ ヤンキース・ファンはとても熱烈ですから。スタジアムでの食事はホットドッグやビールだけでなく、「**Mighty Quinn's Barbeque**」、「**Marcus Samuelsson's Streetbird**」、「**Halal Guys**」、「**City Winery**」など、さまざまなオプションがあります。

球場の外では、ヤンキースの記念品と熱狂的なファンが集まることで知られる「**Stan's Sports Bar**」でビールを、「**Bronx Drafthouse**」では手羽先とクラフトビールを堪能できます。試合観戦以外にも、この界隈にはたくさんの楽しみがあります。ジャマイカ料理の「**The Eating Tree**」はジャークチキンで有名です。ストリートアーティストのアンドレ・トレニアーが描いたジョー・ディマジオなどの伝説的な野球選手を称える壁画を見ながら散策するのもオススメです。

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オーダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

スタジアムの向かい側には、歴史ある**ブロンクス・ターミナル・マーケット** (Bronx Terminal Market) があり、さまざまなレストランや小売店が軒を連ねています。5 月には、Universal Hip-Hop Museum (メルローズ地区に常設展示場を建設中) が主催する「**[R]Evolution of Hip Hop**」展がこのマーケット内で開催される予定です。その間、ヒップホップファンは 1520 Sedgwick Avenue にある「Hip Hop Blvd」の看板を巡礼することもできます。ここは 1973 年、ある DJ がパーティーで人々を踊らせるために、ターンテーブルでレコードをスクラッチしながらラップを始めたことからヒップホップが誕生した場所です。

球場から東に数ブロック行くと、**グランドコンコース**があります。5 マイルに及ぶこの大通りは、シャンゼリゼ通りから着想を得たもので、アールデコ様式の建物が立ち並ぶエリアとして知られています。グランドコンコース歴史地区には、水族館をテーマにした壁画や、大胆なデザインのロビーが特徴の **Fish Building** (1150 Grand Concourse)、ネオルネッサンス様式のヴィラで元々は財産を失った富裕層のための老人ホームとして使われていた **Andrew Freedman Home** (1125 Grand Concourse) などがあります。1040 Grand Concourse にある**ブロンクス美術館**は一見の価値があり、入場料は無料です。コンコース沿いではありませんが、近くにはガーナ料理の店「**Papaye**」があります。

●**モットヘブン (MOTT HAVEN) とサウスブロンクス (THE SOUTH BRONX)** : 6 系統の地下鉄で Third Avenue-138th Street 駅まで行き、そこから数ブロック歩くと Alexander Avenue があり、そこにブロンクスで唯一のインディペンデント系書店「**The Lit. Bar**」があります。この書店には、最先端の小説、詩、ノンフィクション、児童書、そしてベル・フックスやトニ・モリソンのような作家の名作があり、すべては「The Lit.Bar」の偉大な創設者ノエル・サントスのキュレーションによるものです。同じブロックにある「**Beatstro**」では、南部料理やプエルトリコ料理のコンフォートフードをお楽しみください。オリジナルの LP レコードなどが展示され、ヒップホップへのオマージュが込められています。その角にある「**Chocobar Cortes**」では、チョコレートマティーニなどが味わえます。

また、この地域にはアートスポットが集積しています。現代アートギャラリー「**WallWorks New York-Kreate Hub**」、若手アーティストのための「**BronxArtSpace**」、写真や映画、そして独自の視点を紹介する「**The Bronx Documentary Center**」などがあります。Walton Avenue には「**The Pregones Theater**」があり、「**Puerto Rican Traveling Theater**」を主催しています。近くには、ユニークなブティックホテル「**Opera Hotel House**」があります。

モットヘブンの南東、ポートモリス地区には、「**The Bronx Brewery and Empanology**」があり、伝統的なプエルトリコ料理やビーガン料理を現代風にアレンジした料理を提供しています。

●**アーサー・アベニュー (ARTHUR AVENUE) (ベルモント)、ブロンクス動物園 (BRONX ZOO)、ニューヨーク植物園 (NEW YORK BOTANICAL GARDEN)** : アーサー・アベニューに向かう人に伝えたいことはただひとつ、ボナ・ペティート! ベルモント地区にあるこのエリアは、ブロンクスの**リトル・イタリー**として知られ、食通の間では有名な場所です。「**Zero Otto Nove**」

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オーダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

のピザは、本場イタリアに勝るとも劣らない味で、ファンから高い評価を得ています。「Mario's」には昔ながらの雰囲気があり（このレストランは 2019 年に 100 周年を迎えました）、「Tra Di Noi」では家庭的なクラシックなイタリアン料理、「Dominick's」ではファミリースタイルの料理、「Antonio's Trattoria」ではよりコンテンポラリーな料理を提供します。「Borgatti's」ではラビオリを、「Delillo」ではペストリーをテイクアウトし、「The Bronx Beer Hall」と「Mike's Deli」があるアーサー・アベニュー・リテールマーケット（Arthur Avenue Retail Market）もお見逃しなく。地下鉄の最寄り駅は Fordham Road 駅（B/D/4 系統）です。

ブロンクス動物園とニューヨーク植物園は、ブロンクス公園内のアーサー・アベニューの東に位置しています。国内最大級の広さを誇る 265 エーカーの**ブロンクス動物園**には、700 種、17,000 匹以上の生き物が飼育されています。展示は、アフリカ平原（ライオン）、マダガスカル（キツネザル）、コンゴ・ゴリラの森、タイガーマウンテン、ヒマラヤ高地、爬虫類の世界、鳥類の世界、ネズミの家、さらにキリン、バイソン、クマ、バタフライガーデン（4 月～10 月）、ワイルド・アジア・モルレー（5 月～10 月）など。子供たちのお気に入り、昆虫の乗り物に乗るバグ・メリーゴーランドや、子ども動物園、ネイチャー・トレッキング（3 歳以上）です。その他、動物とのふれあい体験や、空中散策ができるツリートップ・アドベンチャーがあります。水曜日の無料チケットは、枚数に限りがありますが、オンラインで事前に購入することができます。2/5 系統で East 180th 駅まで行き、そこからタクシーまたはバスで 1 マイル離れた動物園のアジア・ゲート（Asia Gate）をご利用ください。その他のルートの詳細は[こちら](#)。

ニューヨーク植物園は、米国最大の都市型植物園で、国定歴史建造物に指定されています。250 エーカーの敷地には、100 万本の植物、ラン、ツツジ、バラなどを展示する 50 もの専門庭園、数千本の木（中には樹齢 200 年以上のものも）、ビクトリア様式の温室であるエニッド・ハウプト温室などがあります。グラント・セントラル駅からメトロノース鉄道ハーレム線で Botanical Garden 駅まで、あるいは B/D/4 号線で Bedford Park Boulevard 駅、または 2 系統で Allerton Avenue 駅で下車してください。

●**リバーデイル（RIVERDALE）、キングスブリッジ（KINGSBRIDGE）、ヴァンコートランドパーク（VAN CORTLANDT PARK）**：ブロンクス北西部には、ボロー内でもっとも美しい緑地とともに飲食を楽しめるスポットがあります。**ウェーブヒル（Wave Hill）**と**ヴァンコートランドパーク（Van Cortlandt Park）**です。

ウェーブヒルは、チャールズ・ダーウィン、マーク・トウェイン、アルトゥーロ・トスカニーニ、セオドア・ルーズベルトなどの著名人が訪れた私有地として誕生しました。現在では、森の中のトレイル、テーマ別の庭園、ハドソン川のパノラマビューを誰でも楽しむことができます。バードウォークやネイチャー・ウォーク、アートショー、ライブミュージックなどのプログラムもあります。訪れる際はグラント・セントラル駅からメトロノース鉄道ハドソン線の Riverdale 駅、または 1 系統の地下鉄に乗り、Van Cortlandt Park-242 street 駅で下車してください。

ニューヨーク市観光局

日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オードス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

ヴァンコートランドパークは、ランナー泣かせの Cemetery Hill を含むクロスカントリー・ランニングのコースで有名です。ランニングの途中には、亀と野ウサギの彫刻があり、公園を出たところにある「Lloyd's Carrot Cake」の店は、頑張った自分へのご褒美としてランナーたちに人気があります。ハイカーは Putnam Trail、Cass Gallagher Nature Trail、John Kieran Nature Trail、John Muir Trail、そして Old Croton Aqueduct Trail（いずれも 1.5 マイル以内の散策道）にて、森林や湿地をのんびりと楽しむことができます。公園には、遊び場、スケート場、オリンピックサイズのプール、クリケット、野球、サッカー用のグラウンド、ボールコート、乗馬用の馬小屋とトレイルもあります。1748 年に建てられた**ヴァンコートランドハウス・ミュージアム**（Van Cortlandt House Museum）は、公園内の Broadway at 246th Street 付近にあり、独立戦争時にはジョージ・ワシントンをも 2 度迎え入れました。展示では、この土地に住み、労働に勤しんだアフリカ系奴隷の物語が語られています。

博物館から数ブロックのところにある「**Kingsbridge Social Club**」では、ユニークな回転釜でピザを作り、美味しい菓子ゼッポレを提供しています。ニューヨーク市でも屈指のアイリッシュパブ「**An Beal Bocht**」もお見逃しなく。アイルランドの有名な小説にちなんで名付けられた「An Beal Bocht」の内装には、アイルランド人画家の壁画が描かれています。土曜日の朝には、ブルーグラス・ミュージシャンのジャムを聴きながら、ボリュームたっぷりのアイリッシュ・ブレックファストを堪能できます。夜はパブでギネスを飲みながら、ライブ演奏をお楽しみください。1 系統の The 238th Street 駅が最寄り駅ですが、そこから「An Beal Bocht」に行くには、急な屋外階段（通称「ステップストリート」）を登る必要があるため、心構えをしておいてください。The 242nd Street 駅からは少し遠くなりますが、坂道は少ないです。

●**ウッドローン (WOODLAWN)** : ウェストチェスター郊外に接するこの北側の地域は、リトル・アイルランドと呼ばれることもあります。Katonah Avenue 沿いには、「**Rambling House**」や「**Behan's Public House**」（アイルランド人作家ブレンダン・ビーハンにちなんで名づけられ、彼の作品が壁に引用されています）など、アイルランド料理とドリンクを楽しめるスポットが集まっています。両店ともライブ演奏があります。「**The Kitchen**」では、フィッシュ&チップスや本格的なアイリッシュ・ブレックファストを提供しています。「**Prime Cut Irish Butcher Store**」では、ソーセージやポットパイなどが味わえます。

ウッドローン墓地（Woodlawn Cemetery）は、彫刻や霊廟が点在する、400 エーカーの広さを誇る緑豊かな墓地です。メインエントランスにある事務所で、この地に埋葬されている有名人の地図をもらいましょう。墓地のジャズコーナーでは、伝説の音楽家デューク・エリントン、マイルス・デイヴィス、ライオネル・ハンプトンに敬意を表しましょう。その他にも、キューバの偉大な歌手セリア・クルス、婦人参政権論者エリザベス・キャディ・スタントン、『白鯨（原題: Moby Dick）』の著者ハーマン・メルビル、ニューヨーク市長フィオレロ・ラガーディア、そして公園管理官ロバート・モーゼス、女優ダイアハン・キャロル、アフリカ系アメリカ人の企業家マダム C.J.ウォーカー、アフリカ系アメリカ人のノーベル平和賞受賞者ラルフ・バンチなどが、この地に葬られています。1863 年に設立されたこの墓地は、国定歴史建造物に指定されています。テーマ別のツ

アーもあります。最寄り駅は、4 系統の Woodlawn 駅、2/5 系統の 233rd Street 駅、またはグランド・セントラル駅からメトロノース鉄道ハーレム線で Woodlawn 駅です。

●**ペラム・ベイ・パーク (PELHAM BAY PARK) とシティ・アイランド (CITY ISLAND)** : 2,772 エーカーの広大な敷地面積を誇るペラム・ベイ・パークは、ニューヨーク市最大の公園です。公園内には子供向けの遊び場や、Pond Walk (池の散歩道)、Sensory Garden、36 ホールのゴルフコースやアスレチック施設、Hunter Island、Siwanoy Trail そして Turtle Cove などのネイチャー・ウォークなどがあります。歴史好きな方は、19 世紀のギリシャ復興様式の**バートウ・ペル邸 (Bartow-Pell Mansion)** を見学することもできます。**オーチャード・ビーチ (Orchard Beach)** は、ブロンクス・リビエラと呼ばれることもあり、ロングアイランド海峡に面した 1km の砂浜、遊歩道、パビリオン、売店、ボールコートがあります。夏のピーク時には、人ごみと音楽にご注意を。最寄り駅は、6 系統の地下鉄で終点の Pelham Bay Park 駅です。

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オーダス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY.
#ITSTIMEFORNYC

シーフードで有名な**シティ・アイランド**へは、Pelham Bay Park 駅から Bx29 バスに乗車します。「**Sea Shore Restaurant and Marina**」、「**Artie's Steak & Seafood Restaurant**」、「**Lobster Box**」、「**Tony's Pier**」そして「**The Black Whale**」など数あるレストランでお食事をどうぞ。ドリンクなら「**The Snug**」がおすすめです。「**Kaleidoscope Gallery**」(ジュエリー、工芸品、装飾品、アートワーク) や「**239 Play**」(ビンテージ玩具) ではお土産を選んでみてはいかがでしょうか。他にも、1876 年に建てられたビクトリア朝様式のランドマークである **Samuel Pell House** や、ウェス・アンダーソン監督の映画『ザ・ロイヤル・テネンバウムズ』に登場した **21 Tier St.**などの邸宅が有名です。また、**シティ・アイランド航海博物館 (The City Island Nautical Museum)** を見学したり、ローカルの墓地で船や海の生き物で装飾された墓を見つけたり、**Jack's Bait and Tackle** でボートをレンタルすることもできます。

Pelham Bay 駅から南へ 1 マイルのところにある**シュイラヴィル (Schuylerville) 地区**には、古着などを扱う「**Third Eye Throwbacks**」があります。近くの「**Louie & Ernie's**」は美味しいピザで知られています。

橋: ブロンクスは、ニューヨーク市で唯一、島ではないボロー (行政区) です。ブロンクスと他のボローはいくつもの橋で結ばれており、実際に歩いて渡れる橋もあります。なかでも魅力的なのが、**ヘンリー・ハドソン橋 (Henry Hudson Bridge)** と**ハイ・ブリッジ (High Bridge)** の 2 つの歩行者専用通路です。

ヘンリー・ハドソン橋はマンハッタンインウッド・ヒル公園 (Inwood Hill Park) とブロンクスの**スプイテン・デュイビル (Spuyten Duyvil) 地区**を結んでいます。スプイテン・デュイビルは、近くのメトロノース鉄道の駅名でもあり、橋の下を流れる小川の名前でもあります。

ハイ・ブリッジは、マンハッタンワシントンハイツ (172nd Street と Amsterdam Avenue) とブロンクスの**ハイブリッジ地区 (University Avenue と 170th Street)** を結んでいます。ハイ・ブリ

ッジはニューヨーク市内で最も古い橋です。1848年にクロトン水路橋システムの一部として開通しましたが、当初の石造アーチの一部は鋼製アーチに改修されました。

ボート&フェリー: NYC フェリー (NYC Ferry) を利用してブロンクスへ。料金は地下鉄と同じ\$2.75。ウォール街や 34th Street などのイーストリバーの棧橋から、ブロンクスの **Soundview** と **Throgs Neck-Ferry Point Park** の 2 つの停留所へ向けて船が出ています。Soundview は、ニューイングランドにありそうな静かで美しい半島の小さな公園、**クレイソン・ポイント** (Clason Point) 内に位置します。ピクニックで景色を楽しんだり、Soundview Avenue まで散歩して、「**Marvilla's Bar & Grill**」や「**Mi Casita Lounge**」で食事もできます。ボートの終点、Ferry Point Park には、18 ホールのリンクススタイルのゴルフコースがあります。

全長 8 マイルのブロンクス川沿いでは、2 つの団体が手漕ぎボートやカヌーの体験、ツアー、バードウォッチングなどのアクティビティをローカルの人々や観光客に提供しています。**Bronx River Alliance** のスケジュールは[こちら](#)、**Rocking the Boat** のプログラムは[こちら](#)でご確認ください。

※ブロンクスについてさらに詳細を知りたい方は、[BRONX LIKE A NEW YORKER](#) をご覧ください。

ニューヨーク市観光局 日本オフィス

トレード・マーケティングに 関するお問い合わせ

NYC & Company
c/o 株式会社ソロ
T (03) 6842-5444

アカウントディレクター 山田 隆
japan-trade@nycgo.com
yamada@soloinc.jp
M 080-6649-5121

リリースに関するお問い合わせ およびプレス担当

NYC & Company
c/o 株式会社オードス
T (03) 5615-8177

PR アカウントディレクター 伊藤宏和
nycgo_pr@audacejapan.com
ito@audacejapan.com
M 090-6566-6535

ニューヨーク市観光局 (NYC & Company)

ニューヨーク市にある 5 つの行政区 (ブロンクス、ブルックリン、マンハッタン、クイーンズ、スタテンアイランド) 全域の観光推進および経済発展、そしてイメージ向上を目的とした、ニューヨーク市の公式ツーリズム・マーケティング機関です。公式 HP: www.nycgo.com

nycgo.com
twitter.com/nycgo
facebook.com/nycgo
instagram.com/nycgo

IT'S TIME FOR
NEW YORK CITY
#ITSTIMEFORNYC

ブロンクスおよび周辺エリアの画像データ:

<https://spaces.hightail.com/space/BEX2iVK400>

「ニューヨーカーのように歩くブロンクス」キャンペーン画像:

<https://spaces.hightail.com/space/BWQsa9IXC3>

これらのメディア資産をダウンロードすることにより、利用者は以下の条件に同意したものとみなされます:

ニューヨーク市観光局 (NYC & Company) は、プレス用途に限り、その使用を許諾しています。提供するメディア資産のすべてまたは一部を報道目的以外に使用すること (メディア資産の複製、配布、販売を含むが、これに限定されない) は禁止されています。また、ニューヨーク市観光局の許可なく、メディア資産を商業目的で使用したり、いかなる形でリブランディングすることはできませんのでご注意ください。